

## 2018年度 事業計画・予算

### 1. 普及・啓発事業

担当理事：善本眞弓

#### ①グッド・トイ選考事業

##### (Ⅰ)「グッド・トイ 2018」

4月29日に最終選考会が行われる。5月26日にはグッド・トイ選定証授与式を受賞者との交流の要素を高め「グッド・トイフォーラム」と題し、研修の場となるようにする。

##### (Ⅱ)「グッド・トイ 2019」

「グッド・トイ 2019」 秋より応募受付を開始予定。

##### (Ⅲ)普及・啓発

7月末にはグッド・トイガイド発行予定。また、支部と連携をする新受賞玩具のお披露目会「グッド・トイ Café」も継続実施。また、ブランディング取組みも継続し、普及などに関して外部専門家を交えてのプロジェクトを立ち上げる。



### 2. 専門家の育成事業

担当理事：稲葉恭子・丸山智子・鎧勉

#### ①芸術・絵画系

##### (Ⅰ)夏の芸術教育学校

東京・大阪・福岡を中心に147講座、定員6,600名(おもちゃインストラクター養成講座除く)。7月23日～8月10日に開催を予定。地方会場と東京会場の講師の入替えや新しい講師2名(会員含む)を加えるなど、受講生にとって目新しい講座の充実を図るとともに、ホームページのリニューアルを図るなど、申し込みやすさも継続して考慮する。

##### (Ⅱ)絵画指導インストラクター養成講座

「初級から上級へ、さらにスペシャリストへ」の流れを、ホームページなどを使い、見える化し受講生獲得につなげる。

##### (Ⅲ)絵画指導スペシャリスト養成講座

昨年の組織統合により、受講条件に会員であることが加わったが、このことにより、より受講生と本法人がつながりあい、資格取得後の活動の支援もより充実させるべく計画していく。

##### (Ⅳ)子どものための芸術と遊びフォーラム

2月24日に代々木オリンピックセンターで開催予定。幼児の芸術教育全般について講演会と保育者を中心に参加者自身の実践をもとに話し合う分科会との2部構成。分科会については、おもちゃ、幼児の絵画造形・未満児の造形あそび、木育・自然、表現あそびの5分野を予定。また、分科会が、通年で開催されている「保育とおもちゃ研究会」や「絵画研究会」木育・ナチュラリストの「フォローアップ講座」などの一年間の集大成の場となるよう位置づけをする。

##### (Ⅴ)シンポジウム「伝承遊びから学ぶ『木育』『自然体験』」

東京おもちゃ美術館10周年記念として「日本伝承遊び事典」が出版されたことを糸口とし、8月22日にシンポジウムを開催。独立行政法人国立青少年教育振興機構との共催、黎明書房の協力のもと開催予定。伝承遊びの中にも、自然や木育とのつながりを見つけ、日常的に伝えていくことを考える。体験コーナーでは、おもちゃコンサルタント、おもちゃ学芸員の活躍にも期待したい。



## ②高齢者系（アクティビティ開発センター）

### （Ⅰ）アクティビティインストラクター

アクティビティディレクターへの継続的な受講を促すため、これまでの開催地だけでなく、東京近郊（埼玉・千葉・神奈川）での開催を模索中。地方会場では、支部の協力によって開催するところもある（青森）。また、テキストを改定をすすめる。

### （Ⅱ）アクティビティディレクター

年間2回（5-6月、11-12月）に開催。パンフレットやホームページ等でインストラクターとディレクターのつながりが見える化するとともに、新規講師1名を加え、講座内容の充実を図るなど、受講者数の獲得につなげる。

### （Ⅲ）アクティビティ・ケア実践フォーラム

地方会場3回（岩手・釧路・熊本）と、全国大会として東京で1月に開催。分科会の実践報告者を公募するなど、分野の拡大とともにディレクターの活躍の場としての充実を図る。また、地域での情報共有の場、実践発表をすることで助言をもらいスキルアップできる場として確立させていく。

### （Ⅳ）アクティビティ・ケア推進施設

アクティビティディレクターの活躍できる施設として「アクティビティ・ケア推進施設」をアクティビティ開発センターが認定。そのための基準を明確化し、今年度から公募をはじめる



## ③おもちゃ系



### （Ⅰ）おもちゃインストラクター養成講座

今年度もおもちゃコンサルタント養成講座への誘導を進めるべく、新規開催地を増やしていくとともに、外部開催の中にも社会人枠が増やせるのかの可能性を探る。また全国の会員の協力のもと、地方でも8地域（北海道/神奈川/富山/岐阜/愛知/大阪/愛媛/福岡）での開催を予定。

### （Ⅱ）おもちゃコンサルタント養成講座

通学コースについては、受講生の交流の場を持つことで、受講後のつながりを強化し、資格取得後も様々な活動が行えるようにする。

また通信コースでは、レポート添削をおもちゃコンサルタントマスターの方に依頼。丁寧な添削を心がけ、身近におもちゃコンサルタントマスターを感じてもらうことで、終了後の活動へとつながることを期待している。さらに、担当者からの先を見越した案内や激励によりスクーリングへの参加を促進し、資格認定のサポートを行っていく。

### （Ⅲ）おもちゃコンサルタントマスター養成講座

2月に開催予定。マスターの活躍の場として、おもちゃコンサルタント養成講座通信コースレポートの添削、芸術教育研究所夏の学校手づくり講師、グッド・トイ選考における役割、ウッドスタート事業への関わりなどを考え、より多くのマスター受講へのきっかけにしていきたい。

### （Ⅳ）その他

1)「遊びを見つけるおもちゃセミナー」を資格取得者向けだけでなく、姉妹館や支部主導での開催を検討。外部からの依頼も受けていくようにする。

2) 保育や子どもに関わる会員向けに「保育とおもちゃ研究会」を年5回開催予定。

3) 香港日本児童教育専門協会のスタッフ研修として、東京および香港でのおもちゃインストラクター養成講座及びおもちゃのワークショップを全3回開催予定。香港へは講師2名を派遣するとともに、会員向けの「香港スタディツアー」も検

討中。さらなる内容の充実と会員の活躍の場の創出に努める。

4)中国 keylight のスタッフ研修及び親子ワークショップを東京で開催予定。また、中国への講師派遣も検討する。

### 3. 調査研究・情報発信事業

担当理事：馬場清

#### ①ウェブマガジンの発行

8月の発刊に向けて準備を進める。6月には、執筆者への記事を書くにあたってのレクチャー会を開催。より多くの読者に共感してもらえるよう、また自ら情報発信できるコツを伝えることで、媒体の魅力を高めることを目指す。読者の毎日をちょっと明るくする記事を多数用意し、当法人のなかで最も閲覧数の多いWebサイトになるよう広報にも注力する。

タイトル：検討中 発刊：2018年8月下旬

コンテンツ：おもちゃコンサルタント連載、月替わり工作投稿ギャラリー、ゲストインタビュー予定

連載案：「捨てないおもちゃの整理術」「突撃！となりのおもちゃの広場」「4コマ漫画ソフとマゴ（伝承おもちゃの紹介）」  
「木のおもちゃ作家の日常」他計12名が連載予定

#### ②『芸術と遊び』（旧：芸術教育）の刊行

組織統合により、今まで「保育・子ども」を中心にした研究誌だったが、「高齢者・介護」や「おもちゃを通じた社会貢献」等の視点も含んだ研究誌に改定。タイトルも「芸術教育」から「芸術と遊び」に変更し、編集委員にアクティビティインストラクター資格認定セミナー講師と専門の編集者が加わる。発行は7月から11月に変更。また、会員特典として全員配布とし、3,000部発行予定。法人全体の活動を含めた研究誌として制作中。

### 4. 体験の場創出事業

#### ①移動型おもちゃ美術館

担当理事：曾我部晃

##### （Ⅰ）木育キャラバン・グッド・トイキャラバン

開催回数では計40回前後になる見込み。これまで通り、主催者の多様化、規模の拡大化、継続した開催等が特徴である。特におもちゃコンサルタントが主催または働きかけによって実現するパターンも増えてきている。さらには、キャラバンの地方開催が、地方会員にとって、これまで以上に勉強の場、交流の場となるように、情報発信を綿密にしていく。

##### （Ⅱ）森のおもちゃ美術館

日時：5月18日～20日 場所：新宿御苑

内容：第13回ロハスデザイン大賞2018新宿御苑展の中で開催。今回で8年連続の参加となり、年々規模、入場者が増加している。これまで通り、ワークショップや遊びを通じて、日本の森を考えるきっかけにもらえる機会としたい。「ウッドスタート」や木育を広める場として、今回はウッドスタート企業として株式会社長谷萬、自治体からは埼玉県秩父市、ときがわ町、山武市、檜原村、岐阜県などが出展・参加している。



#### ②子育てサロン「おもちゃの広場」

担当理事：石井英子

北海道から沖縄県まで、82名の広場開催者と61名の自主開催者により（どちらもおもちゃコンサルタント限定）、年間600回以上の開催予定。12月1日「おもちゃの広場交流セミナー」を開催し、広場開催者同士の交流が一層深まり、



ベテランの開催者と新しい開催者の参加の交流する機会をもつ。

### ③東京おもちゃまつり

担当理事：多田純也／曾我部晃



開催予定日：10月13、14日 会場・共催：四谷ひろば

例年同様、多数のおもちゃコンサルタントの方に出展いただく「おもちゃの縁日」だけでなく、例年通り「森のめぐみの子ども博」も同時開催予定。毎年の目標ではあるが、おもちゃコンサルタントの方々の満足感、さらにはウッズスタート事業をさらに広める方法など、当法人が自主開催として行う最大規模のイベントとして、より有意義なものとなるよう様々な方法を追求していきたい。

### ④病児の遊び支援

担当理事：二瓶健次／荻須洋子

#### (Ⅰ)病院でのおもちゃコンサルタントの活動

下記19病院で病児の遊びとボランティア活動を行う。ボランティアの往復交通費(上限2,000円)、実費弁償1,000円(全日)、500円(半日)をNPOで負担。ボランティアの抗体検査、予防注射費用は自己負担。

【活動先病院】神奈川県立こども医療センター(神奈川県)、千葉大学医学部附属病院(千葉県)、帝京大学ちば総合医療センター(千葉県)、千葉東病院重心病棟(千葉県)、中川の郷療育センター(埼玉県)、国立成育医療研究センターおもちゃライブラリー(東京都)、杏林大学医学部付属病院(東京都)、順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都)、東京医科歯科大学医学部附属病院(東京都)、東京女子医科大学病院わかまつ学級(東京都)、東京女子医科大学病院小児病棟(東京都)、東京西徳洲会病院(東京都)、東京都立小児総合医療センター(東京都)、青梅市立総合病院(東京都)、日本赤十字社医療センター附属乳児院(東京都)、といぼけっと(大阪府各地)、大分県立病院(大分県)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(沖縄県)、琉球大学附属病院(沖縄県)

#### (Ⅱ)ホスピタル・トイ・キャラバン

千葉県こども病院にて開催予定。(協力：千葉支部)

#### (Ⅲ)セミナー

9月30日 病児の遊びセミナー

(ボランティア募集のためのスキルアップセミナー)

3月3日 成育セミナー

(場所：成育医療研究センター)

#### (Ⅳ)在宅難病児の東京おもちゃ美術館ご招待

(スマイルデー)3回開催

5月31日、8月30日、10月4日

※各回休館日を活用。(助成：日本財団、TOOTH FAIRY、日本歯科医師会 ほか)



### ⑤地域活動支援

担当理事：馬場清

全国各地での草の根の活動を支援するために、会員の活動を活発化させ、芸術と遊びの普及活動を推進する。

#### (Ⅰ)支部活動(地域グッド・トイ委員会)

支部の所属会員数に応じての活動支援金、オリジナルのぼりの支給、グッド・トイ cafe(新選定グッド・トイの支部イベントへの貸出等)も継続して行い、支部活動の活性化を図りたい。6月22日・23日には例年通り支部長会議を開催予定。新支部として新潟支部(今まではアクティビティ会員のみだったが、おもちゃコンサルタントにも広げる)、熊本支部が立ち上がる予定。

キャラバンやインストラクター養成講座の支部開催等を通じて、東京周辺以外の会員の方々の活躍の場を確保するとともに、地方会員のネットワークの強化を図り、支部活動の活性化及び支部の組織化につながるようにしていきたい。

## (Ⅱ)芸術と遊び活動支援金

会員が、おもちゃコンサルタントとして、芸術と遊びの専門性を生かした活動に取り組むにあたり、一申請当たり、上限 50 万円(今年度は総額 100 万円)の助成を行う。活動内容は、次年度の成果発表会で報告されるほか、ウェブサイトでも発信する予定。

## (Ⅲ)その他

### 「おもちゃの宅配サービス」

会員がだれでも送料のみの負担で借りることができる「おもちゃの広場宅配セット」は、計 6 セット(うち 2 セットを高齢者アクティビティセット)があり、3 名の会員に 2 セットずつ委託し管理をしてもらっている。

### 「おもちゃコンサルタントお仕事チーム」

当 NPO にくるさまざまな依頼について、事前に登録したおもちゃコンサルタントに情報提供することで、おもちゃコンサルタントとして活躍できる場を公平かつ幅広く提供。

## ⑥あーと・らぼ

現在、「絵画」「造形」の子どもアートスクール(教室)と、あーとりえぶらす(まちなか子育てサロン)、ベビーサイン教室(親子教室)の 3 本柱。赤ちゃんから小学生までの継続的な育ちの応援の場、親支援の場、とともに芸術教育の実践の場、研究の場としての位置づけを確実にしていく。

## ⑦国際交流

担当理事:多田千尋

### (Ⅰ)ミャンマー教育支援 「BOOK & TOY ライブラリー100」

協働団体:認定NPO法人ブリッジ エーシア ジャパン (以下、BAJ)

小学校への図書とおもちゃのミニライブラリーを本年度も 30 校前後へ寄贈予定。これまでに引き続き、全日本空輸株式会社、小樽高等支援学校からの玩具製作協力などを受けながら、BAJ とともに実施をしていく。また 1 月 26 日、27 日にヤンゴン市内で移動型おもちゃ美術館を開催予定。実施の際には、会員に呼びかけスタディツアーも検討し、イベントを通して現地の子どもたちとのワークショップの機会を設けたい。



## ⑧被災地支援

担当理事:馬場清

### (Ⅰ)東日本大震災関連

本年度も引き続き、10 月末に開催予定の飯舘村文化祭に、おもちゃコンサルタントを派遣予定である。さらには、これからの村の復興計画に際して、どのような支援ができるのか、検討を行う。

### (Ⅱ)その他

何か災害が発生した場合には、地元関係者と綿密に連絡を取りながら、必要に応じて支援の取組を進めていく。

## 5. 地域活性化事業

担当理事:蛇谷秀明・馬場清

### ①ウッドスタート事業

ウッドスタート「自治体100×企業100プロジェクト」を推進し、誕生祝い品制度の導入を軸として、ウッドスタートネットワークを普及させていく。具体的には以下の通り。

【自治体】



現段階で今年度内のウッドスタート宣言を前向きに検討しているのは以下の自治体である。

青森県六ヶ所村・岩手県花巻市・岩手県平泉町・群馬県川場村・東京都豊島区・長野県佐久穂町・兵庫県宍粟市・和歌山県田辺市・香川県まんのう町・愛媛県新居浜市

今年度は、来年度から施行される森林環境譲与税の使い道のひとつとして、特に大都市圏の自治体に誕生祝い品制度を提案していきたい。また地域活性化センターとの連携を図りながら、空白県をなくす取組を継続して進めるとともに都道府県版ウッドスタートも普及させていく。さらにすで

に宣言している自治体に対しても定期的に働きかけや情報提供を行うことで、さらなる木育推進のきっかけとなるようにしていきたい。

#### 【企業】

ウッドスタートネットワークのさらなる充実を図るためには、企業の参画が不可欠であることから、例年以上に、各企業がウッドスタート宣言するように積極的に働きかけていく。特に誕生祝い品で終わることなく、企業の独自性を発揮しながら、地域での木育推進の推進力になるように働きかけを行っていきたい。年度内に宣言を検討しているのは、以下の企業である。熊木住建・寺本木材・山長商店・大匠建設・パルシステム埼玉・大建工業・ネットトヨタ神奈川など

#### 【保育園・幼稚園等】

都庁との共催で行われる「森のめぐみの保育環境セミナー」を活用し、普及を図った。

#### 【ウッドスタート年報の制作】

上記の活動を網羅した年報を制作する。配布先としては当会会員、全国の自治体及び木育サミット参加者とし、ウッドスタート事業を広めるためのツールとするだけでなく、宣言済み自治体の広報ツールとしても役立てる。

#### 【木育映像制作】

国産材を活用した木製玩具ブランド KitoTEto の立ち上げに伴い、森と暮らしをつなぐツールとして活用。

【受賞】 低炭素杯 2018「文部科学大臣」賞



## ②木育拠点整備

ウッドスタート宣言自治体において、誕生祝い品事業に続く木育推進の取組として、地域材を活用した空間構築の取組を支援する。加えて木育インストラクター養成講座の開催等も働きかけて、ソフト面での充実も図る。現在、取組を進めているのは以下の通り。

#### 【自治体】( )内はオープン日

岐阜県大野町：道の駅に設置される子育て支援施設の監修(2018 年度オープン予定)

東京都豊島区：「パパママ☆すぽと」の監修(2019 年度オープン予定)

愛媛県新居浜市：廃校活用としての木育空間の監修 など

#### 【企業】

宣言をした(あるいは予定の)企業において、地域材を活用した空間構築の取組を支援する。その際、単に「木質化」するだけでなく、そこに木育の研修を受けた「人」をつけて、木の空間、木のおもちゃを活用した「木育空間」にすることを目指す。現在、取組を進めているのは以下の通り。

良品計画：引き続き、全国の店舗に木育広場を設置する予定。

サミット：木育おもちゃセットの配布(品川区で実施)



小友木材：「花巻おもちゃ美術館」

株式会社丸山：松島湾ダーランドミュージアム内の木育広場の監修

### ③林野庁補助事業

今年度も林野庁補助事業の「木の文化創造発信事業」のうち「木育活動支援」を申請し、受託が決定した（総額約 550 万円）。その中で下記事業を行う予定である。

・森のおもちゃ美術館の開催（前掲）

・木育サミットの開催

第 6 回木育サミットを徳島県と共催で、2 月 16 日にあわぎんホールにおいて開催する。徳島県だけでなく、四国四県における木育推進のきっかけとしたい。

・木育年報の制作

全国の木育活動を行っている団体の活動を紹介する「木育年報」を制作する

## 6. 施設運営および監修事業

### ①東京おもちゃ美術館

担当理事：多田千尋、中村佳子

#### （Ⅰ）全体状況

多世代交流の館としてさらに充実するためにも、今年度は小学生から大人をターゲットにした企画に力を入れていく。・「いとこのこや」の活用し、小学生向け糸鋸 WS の定期開催や大人向けに、平日開館中・閉館後の場の提供を行うとともに、夏休み小学生向けイベントの充実をする。

#### （Ⅱ）おもちゃ学芸員（ボランティアスタッフ）

いとこのこおもちゃ学芸員の養成がスタート。また、ワークショップや外部見学会などで、おもちゃ作家との関わりを増やし、活動につながる研修の場を多くつくる。現在の登録者は 60 代が圧倒的に多く、70 代以上も増加傾向にある。やりがいがあり、かつ自己成長できる場としても、様々なフォローアップを開催していきたい。

#### （Ⅲ）企画展

第 21 回企画展『アメリカ玩具と中南米のおもちゃ』

2018 年 2 月 9 日～9 月 9 日

第 22 回企画展『木のおもちゃ 20 作家展 第 7 回』

2018 年 9 月 15 日～2019 年 2 月 3 日

第 23 回企画展『郷土玩具展「藁と木と紙」』

2019 年 2 月 9 日～9 月 8 日

#### （Ⅳ）10 周年記念事業

2008 年 4 月に開館してから 10 周年にあたる本年は、様々な催しを企画し内外部の方たちと活動の広がりを振り返るとともに、今後に向けて共有を持つ。

4 月 21 日 10 周年記念式典（会場：四谷ひろば講堂）、6 月 24 日「いとこのこや」開設（おもちゃこうぼう内）、



8月22日 シンポジウム遊びから学ぶ「木育」「自然体験」(国立オリンピック記念青少年総合センター)

12月20日 おもちゃ学芸員感謝祭(会場:梅若能楽堂会館)

また、前年度には、『伝承玩具遊び事典』を発刊している。

## ②姉妹おもちゃ美術館

担当理事:多田千尋

基本構想・設計、スタッフ・ボランティア研修、ファンドレイジングサポートなど、ハード及びソフト面の整備を行う。長門および「鳥海山の開館準備および開館後は運営サポートを進めるとともに、2014年に開館した「やんばる森のおもちゃ美術館」も、人材育成や広報の再検討を行うなど、姉妹館それぞれの整備及び連携の強化を深めていきたい。今年度は、下記の7つおもちゃ美術館の設立を中心に行う。※名称は仮称および予定。( )内はオープン予定日。

- ・長門おもちゃ美術館(2018年4月7日)
- ・鳥海山木のおもちゃ美術館(2018年7月1日)
- ・富士山おもちゃ美術館(2019年7月)
- ・長崎ハウステンボスおもちゃ美術館(2019年7月)
- ・花巻おもちゃ美術館(2020年2月)
- ・檜原村おもちゃ美術館(2020年4月)
- ・ぎふ森の恵みのおもちゃ美術館(2020年4月)





特定非営利活動法人  
芸術と遊び創造協会

# 2018年度 予算 活動計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

単位【円】

科目	2017年度 決算	2018年度 予算	差引	実績比
<b>I 収益</b>				
1. 受取会費				
正会員受取会費	11,074,000	12,000,000	926,000	108%
賛助会員受取会費	400,000	700,000	300,000	175%
2. 受取寄附金				
受取寄附金	2,668,891	5,850,000	3,181,109	219%
3. 受取助成金等				
受取民間助成金及び補助金	11,353,000	8,900,000	-2,453,000	78%
4. 事業収益				
(1)普及・啓発事業 (グッド・トイ選考、普及活動)	220,000	1,100,000	880,000	500%
(2)専門家の育成事業 (芸術教育、アクティビティ、おもちゃ資格認定講座等)	111,424,596	113,000,000	1,575,404	101%
(3)調査研究・情報発信事業 (情報発信、おもちゃ病院協会事務局)	3,288,694	2,150,000	-1,138,694	65%
(4)体験の場創出事業 (キャラバン、病児、広場、まつり、ミャンマー 他)	49,449,176	44,110,000	-5,339,176	89%
(5)地域活性化事業 (ウッドスタートなどの木育推進)	128,868,411	102,000,000	-26,868,411	79%
(6)施設運営および監修事業 (東京おもちゃ美術館、姉妹館設立・運営協力)	192,676,239	285,500,000	92,823,761	148%
(7)その他目的を達成するために必要な事業	0	0	0	
4. 事業収益計	485,927,116	547,860,000	61,932,884	113%
5. その他収益				
受取利息	321,766	300,000	-21,766	93%
雑収益	25,794	20,000	-5,794	78%
収益計	511,770,567	575,630,000	63,859,433	112%
<b>II 費用</b>				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	100,878,967	109,150,000	8,271,033	108%
法定福利費	13,268,243	14,460,000	1,191,757	109%
福利厚生費	188,428	260,000	71,572	138%
人件費計	114,335,638	123,870,000	9,534,362	108%
(2)その他経費				
事業支出	83,324,063	85,440,000	2,115,937	103%
外注費	143,084,229	207,770,000	64,685,771	145%
雑給	44,650	50,000	5,350	112%
通信運搬費	20,621,401	19,840,000	-781,401	96%
旅費交通費	32,013,392	28,020,000	-3,993,392	88%

広報印刷費	6,402,333	7,050,000	647,667	110%
交 際 費	1,527,891	1,630,000	102,109	107%
会 議 費	13,518,352	13,419,000	-99,352	99%
消耗品費	15,275,377	9,940,000	-5,335,377	65%
家 賃	10,120,800	11,150,000	1,029,200	110%
水道光熱費	2,060,781	2,320,000	259,219	113%
保 險 料	202,302	220,000	17,698	109%
租税 公課	76,530	80,000	3,470	105%
リース 料	2,631,960	3,150,000	518,040	120%
支払手数料	417,796	492,000	74,204	118%
減価償却費	5,763,999	5,080,000	-683,999	88%
支払 利息	204,792	0	-204,792	0%
雑 費	2,865,788	2,964,000	98,212	103%
その他経費計	340,156,436	398,615,000	58,458,564	117%
事業費計	454,492,074	522,485,000	67,992,926	115%
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	10,666,191	11,500,000	833,809	108%
法定福利費	3,005,895	3,100,000	94,105	103%
福利厚生費	1,152,851	1,200,000	47,149	104%
人件費計	14,824,937	15,800,000	975,063	107%
(2) その他経費				
外 注 費	202,000	150,000	-52,000	74%
通信運搬費	1,529,963	1,500,000	-29,963	98%
旅費交通費	862,817	850,000	-12,817	99%
広報印刷費	271,685	300,000	28,315	110%
交 際 費	37,576	80,000	42,424	213%
会 議 費	82,060	100,000	17,940	122%
消耗品費	1,583,833	1,200,000	-383,833	76%
家 賃	0	0	0	
支払報酬	827,064	850,000	22,936	103%
租税公課	11,717,974	8,500,000	-3,217,974	73%
リース 料	181,440	200,000	18,560	110%
支払手数料	381,676	400,000	18,324	105%
減価償却費	344,541	300,000	-44,541	87%
その他経費計	18,022,629	14,430,000	-3,592,629	80%
管理費計	32,847,566	30,230,000	-2,617,566	92%
費用計	487,339,640	552,715,000	65,375,360	113%

### Ⅲ. 増減額

当期正味財産増減額	24,430,927	22,915,000	-1,515,927	94%
前期繰越正味財産額	220,801,472	245,232,399	24,430,927	111%
当期正味財産合計額	245,232,399	268,147,399	22,915,000	109%

【2018】事業別予算

定款事業名	(1)普及啓発	(2)専門家の育成			(3)研究情報発信		(4)体験の場創出				
プロジェクト名	選考会/ガイド	芸術教育、木育	アクティビティ	おもちゃ	情報発信事業	おもちゃ病院事務局運営	移動型おもちゃ美術館	おもちゃの広場	国際協力(ミャンマー)	被災地支援(東日本)	おもちゃまつり
【経常収入】											
事業収入	1,100,000	66,000,000	12,000,000	35,000,000	500,000	1,650,000	40,000,000	0	0	0	4,000,000
助成金・補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会費・賛助会費	0	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金	0	0	150,000	0	0	0	0	0	50,000	50,000	0
収入計	1,100,000	66,000,000	12,250,000	35,000,000	500,000	1,650,000	40,000,000	0	50,000	50,000	4,000,000
【経常支出】											
事業支出	0	6,000,000	2,300,000	8,400,000	1,800,000	0	2,000,000	0	160,000	0	880,000
給料手当	1,500,000	18,000,000	3,800,000	12,000,000	0	1,650,000	6,800,000	500,000	0	0	1,400,000
外注費	3,300,000	8,300,000	1,000,000	4,500,000	50,000	0	8,000,000	400,000	0	0	960,000
雑給	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	180,000	2,700,000	600,000	1,800,000	180,000	0	1,050,000	0	0	0	0
福利厚生費	0	90,000	20,000	0	0	0	20,000	0	0	0	0
通信運搬費	300,000	4,200,000	200,000	200,000	40,000	0	9,000,000	500,000	200,000	0	0
旅費交通費	400,000	1,800,000	850,000	1,600,000	100,000	0	4,500,000	310,000	10,000	50,000	50,000
広報印刷費	750,000	420,000	500,000	250,000	40,000	0	150,000	80,000	30,000	0	190,000
交際費	30,000	700,000	100,000	100,000	10,000	0	200,000	0	0	0	0
会議・会場費	120,000	9,800,000	1,000,000	530,000	0	0	220,000	40,000	9,000	0	250,000
消耗品費	400,000	1,000,000	100,000	400,000	0	0	1,800,000	130,000	0	0	360,000
家賃	0	2,000,000	450,000	1,400,000	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	30,000	90,000	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	20,000	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リース料	0	1,250,000	300,000	600,000	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	10,000	50,000	50,000	150,000	5,000	0	30,000	10,000	1,000	0	6,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	80,000	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	0	184,000
支出計	6,990,000	56,340,000	11,300,000	32,080,000	2,225,000	1,650,000	33,860,000	1,970,000	410,000	50,000	4,280,000
収支差額	▲ 5,890,000	9,660,000	950,000	2,920,000	▲ 1,725,000	0	6,140,000	▲ 1,970,000	▲ 360,000	0	▲ 280,000

定款事業名	(4)体験の場創出		(5)地域活性化			(6)施設運営および監修		事業費計	一般管理費		総合計
プロジェクト名	病児遊び支援	地域活動支援	ウッドスタート	木育拠点整備	林野補助事業	東京おもちゃ美術館運営	姉妹館設立・運営サポート				
【経常収入】											
事業収入	100,000	10,000	82,000,000	20,000,000	0	80,500,000	205,000,000	547,860,000	*1 320,000	事業収入	548,180,000
助成金・補助金	2,900,000	0		0	6,000,000		0	8,900,000	0	助成金・補助金	8,900,000
会費・賛助会費		0	300,000	300,000			0	700,000	12,000,000	会費・賛助会費	12,700,000
寄付金	100,000	0	200,000	300,000	0	3,800,000	200,000	4,850,000	1,000,000	寄付金	5,850,000
経常収入計	3,100,000	10,000	82,500,000	20,600,000	6,000,000	84,300,000	205,200,000	562,310,000	13,320,000	経常収入計	575,630,000
【経常支出】									*1受取利息及び雑収益	【経常支出】	
事業支出	500,000	1,400,000	38,000,000	3,000,000	0	6,000,000	15,000,000	85,440,000	*2 850,000	事業支出	86,290,000
給料手当	2,500,000	0	6,000,000	4,000,000	3,000,000	37,000,000	11,000,000	109,150,000	11,500,000	給料手当	120,650,000
外注費	1,000,000	160,000	9,000,000	4,000,000	1,000,000	1,100,000	165,000,000	207,770,000	150,000	外注費	207,920,000
雑給	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	雑給	50,000
法定福利費	400,000	0	1,400,000	600,000	0	4,100,000	1,450,000	14,460,000	3,100,000	法定福利費	17,560,000
福利厚生費	50,000	0	10,000	10,000	0	50,000	10,000	260,000	1,200,000	福利厚生費	1,460,000
通信運搬費	0	1,600,000	2,000,000	800,000	100,000	500,000	200,000	19,840,000	1,500,000	通信運搬費	21,340,000
旅費交通費	1,600,000	650,000	2,000,000	1,000,000	900,000	8,700,000	3,500,000	28,020,000	850,000	旅費交通費	28,870,000
広報印刷費	40,000	150,000	1,100,000	500,000	500,000	1,350,000	1,000,000	7,050,000	300,000	広報印刷費	7,350,000
交際費	0	20,000	100,000	150,000	0	120,000	100,000	1,630,000	80,000	交際費	1,710,000
会議・会場費	50,000	30,000	70,000	350,000	400,000	250,000	300,000	13,419,000	100,000	会議・会場費	13,519,000
消耗品費	300,000	100,000	250,000	100,000	100,000	4,800,000	100,000	9,940,000	1,200,000	消耗品費	11,140,000
家賃	0	0	0	0	0	7,300,000	0	11,150,000	0	家賃	11,150,000
水道光熱費	0	0	0	0	0	2,200,000	0	2,320,000	0	水道光熱費	2,320,000
保険料	0	110,000	80,000	0	0	0	0	220,000	0	保険料	220,000
租税公課	0	0	40,000	20,000	0	0	20,000	80,000	8,500,000	租税公課	8,580,000
リース料	0	0	0	0	0	1,000,000	0	3,150,000	200,000	リース料	3,350,000
支払手数料	60,000	15,000	30,000	20,000	0	25,000	30,000	492,000	400,000	支払手数料	892,000
減価償却費	0	0	0	0	0	5,000,000		5,080,000	300,000	減価償却費	5,380,000
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	支払利息	0
雑費	0	0	0	0	0	2,750,000	10,000	2,964,000	0	雑費	2,964,000
支出計	6,500,000	4,235,000	60,080,000	14,550,000	6,000,000	82,245,000	197,720,000	522,485,000	30,230,000	支出計	552,715,000
								*2支払報酬費			
収支差額	▲ 3,400,000	▲ 4,225,000	22,420,000	6,050,000	0	2,055,000	7,480,000	39,825,000		収支差額	22,915,000

\*1 受取利息及び雑収益

\*2 支払報酬費